

# お知らせします 平成14年度

# 特別会計予算

町の予算は、一般会計のほか、特別会計として国民健康保険、老人保健、介護保険、水道事業、下水道事業、家畜診療所の6事業特別会計から成っています。これらの14年度予算について、それぞれお知らせします。

## 家畜診療所 特別会計

### 1,562万円

(平成13年度 1,602万円)

前年度比2.5%減

家畜診療所特別会計予算は、対前年度比2.5%減となる1,562万円となりました。家畜診療所の運営に関しましては、新潟中央農業共済組合、亀田郷みなみ農業協同組合、横越町酪農組合からの分担金、および町からの負担金と診療収入により運営しています。町の畜産は、酪農と養豚であり、飼育頭数は、乳牛523頭、

## 下水道事業 特別会計

### 5億4,200万円

(平成13年度 6億5,800万円)

前年度比17.6%減

下水道事業特別会計予算は、対前年度比17.6%減の5億4,200万円となりました。これは、計画区域の整備がほとんど完了し、今年度の工事箇所が減少したためです。主な内訳としては、工事費に9,780万円、補償費に2,000万円、借入金の返済に3億1,186万円、流域処理場建設負担金に5,933万円、汚水処理

## 水道事業 会計

### 2億5,990万円

(平成13年度 2億5,890万円)

前年度比0.4%増

水道事業会計予算は、対前年度比0.4%増の2億5,990万円となりました。今年度の水需要は、前年度並みの151万m<sup>3</sup>を見込んでいます。これは下水道の普及により水質化が進み、若干の伸びはあるものの、住宅造成事業は、昨今の経済状況からなかなか建たない見込みが続いていることから、一般家庭等の水使用量の増量は期待できない状況にあるためです。

## 介護保険 特別会計

### 4億8,100万円

(平成13年度 3億9,800万円)

前年度比20.8%増

介護保険特別会計予算は、介護保険事業計画により、昨年のサービス給付の実績等を考慮しつつ、それぞれのサービスの量及び保険料などの歳入により、平成14年度予算額は、総額4億8,100万円、対前年度比20.8%増となりました。介護認定者は年々増加しており、現在は約230名の方々が認定を受けています。

## 老人保健 特別会計

### 9億7,442万円

(平成13年度 9億2,789万円)

前年度比5.0%増

高齢社会で国民みんなで医療費を出し合い、お年寄りの方が病気になっても安心して医療が受けられるように「老人保健制度」があります。今年度予算は、対前年度比5.0%増の9億7,442万円になり、老人医療受給者数(本年度は1,490人)の増加や病気の多様化、長期化と相まって、医療技術の進歩による医

## 国民健康保険 特別会計

### 6億4,833万円

(平成13年度 6億 39万円)

前年度比8.0%増

国民健康保険とは、自営業者や農業者、年金生活者などが加入する保険で、病気をしたときに経済的な心配がなく、安心して医療が受けられる制度です。この制度を支えているのが皆さんの納める保険料で、医療費にあてる大切な財源となっています。今年度予算は、対前年度比8.0%増の6億4,833万円になりました。これは、加速する高齢

肉豚1,568頭となっております。町の農業の中でも基幹となる役割を担い経営が行われています。家畜診療所では、獣医師によりこれら家畜の病気発生の低減や飼育管理の指導を行うなど、関係する機関、団体と連携を図りながら、町の畜産振興に努めていきます。

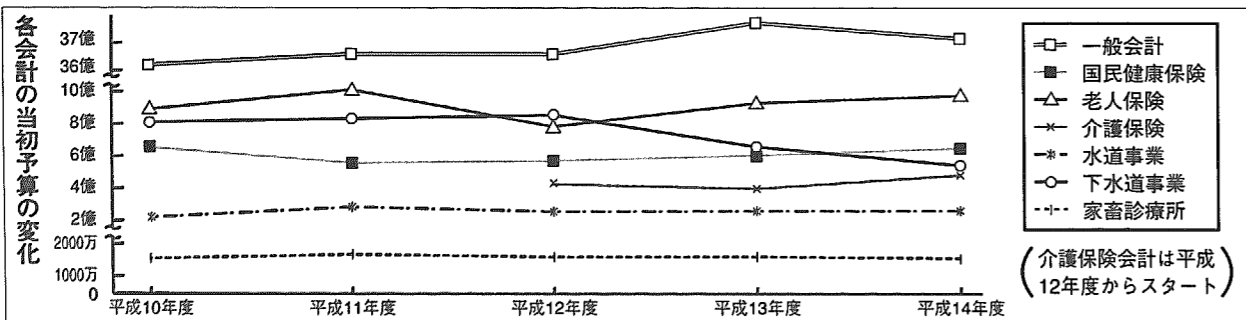
費・維持管理費に8,043万円となっております。町では、今年度中に計画区域の300ヘクタール全域の下水道整備を完了する予定です。工事は、沢海地区で未整備箇所の管渠布設工事を実施します。また、ポンプ場や汚水管渠の適切な維持管理を行うとともに、水洗化率の向上に努めていきます。

今年度も、老朽化した石綿管の布設替え、生活様式の変化に伴う水道管口径の拡大・環状化を図り、今後とも水の安全かつ安定した供給に努めていきます。

そのため、サービスの利用も増加しており、保険給付費で対前年度比21.3%増の4億6,432万1,000円となりました。介護保険制度がスタートして2年が過ぎました。この間、超高齢者社会がますます進み、介護を必要とする高齢者が増える一方で、介護する人も高齢になり、また、介護する人の負担も重くなっています。

療費の増加が見込まれています。老人保健特別会計は、医療保険の拠出金(皆さんが払っている保険料)と国および県の負担金、町からの繰入金(税金から)で運営されています。医療費が増えるということは、皆さんの負担が増えることにつながります。ふだんから健康づくりや上手な受診に心がけて、医療を上手に利用しましょう。

社会を背景に老人医療費の増高に加え、長引く経済不況による国民健康保険被保険者の増加と、医療技術の進歩発展に伴う高度な治療が行われた結果、医療費が増加したことなどが要因です。医療費の節減のためには、病気の早期発見、早期治療が欠かせません。そのため国民健康保険では、人間ドックの経費を助成していただきますのでご利用下さい。



(介護保険会計は平成12年度からスタート)

### 医療費を有効に使いましょう

- ①お医者さんのかけもちはやめましょう。
- ②緊急の場合を除き、時間外・休日受診はなるべく避けましょう。
- ③薬をむやみにたくさん欲しがるとはやめましょう。
- ④お医者さんを信頼し、指示をきちんと守って治療しましょう。
- ⑤定期的に健康診断を受け、病気の早期発見・早期治療を心がけましょう。

介護を必要とする老人等が増加しないよう、今後も一般福祉・介護施策の円滑な実施のため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

今年度の町内の国保加入者は、3,547人(うち退職者被保険者は390人)と見込んでいます。また、国民健康保険税納額の低下(保険料を収めない人の増加)により、国保運営は一層厳しさを増しています。医療費の適正化と保険料納率の向上を図り、加入者の健康保持と国保財政の健全化のため、ご理解とご協力をお願いします。